

2014年2月3日

電通とエスキュービズム、eコマース領域のソリューション開発で連携

株式会社電通（本社：東京都港区、社長：石井 直）は、小売業向けにeコマース（以下 EC）の開発とソリューションを提供している株式会社エスキュービズム（本社：東京都港区、社長：藪崎 敬祐）と業務提携いたしました。今後、共同で新たな EC プラットフォームを構築し、同領域における新たなソリューションの開発とサービスを提供してまいります。

今日、EC 事業における課題は、集客方法、販売方法、コンテンツづくりや CRM（Customer Relationship Management）、オムニチャネル[※]化など多岐にわたります。その結果、業務が煩雑になり、運営コストが増加してしまうといった悩みを抱える企業は少なくありません。また、EC モールへの参加企業、自社 EC サイトを保有する企業、これから EC に参入予定の企業とでは、それぞれ規模や課題の範囲が大きく異なります。

こうした状況を踏まえ、電通とエスキュービズムは、顧客ごとに異なる企業規模や EC 事業における課題範囲に柔軟に対応できる eコマース・ソリューションを開発することにいたしました。

具体的には、顧客の抱える課題ごとにモジュールを組み合わせ、安価にサービスを提供できる EC プラットフォーム「DECIDE（Dentsu E-Commerce Ideal Designing Engine）」を開発中で、3月上旬には販売を開始する予定です。

「DECIDE」の特徴は、受注データ、サイト内の行動データ、広告の出稿データなどを組み合わせることで、統合的なマーケティング・データとして活用できる点にあり、広告領域から eコマース領域までを結ぶ、幅と深みのあるソリューションの提供を目指します（概念図は下記参照）。

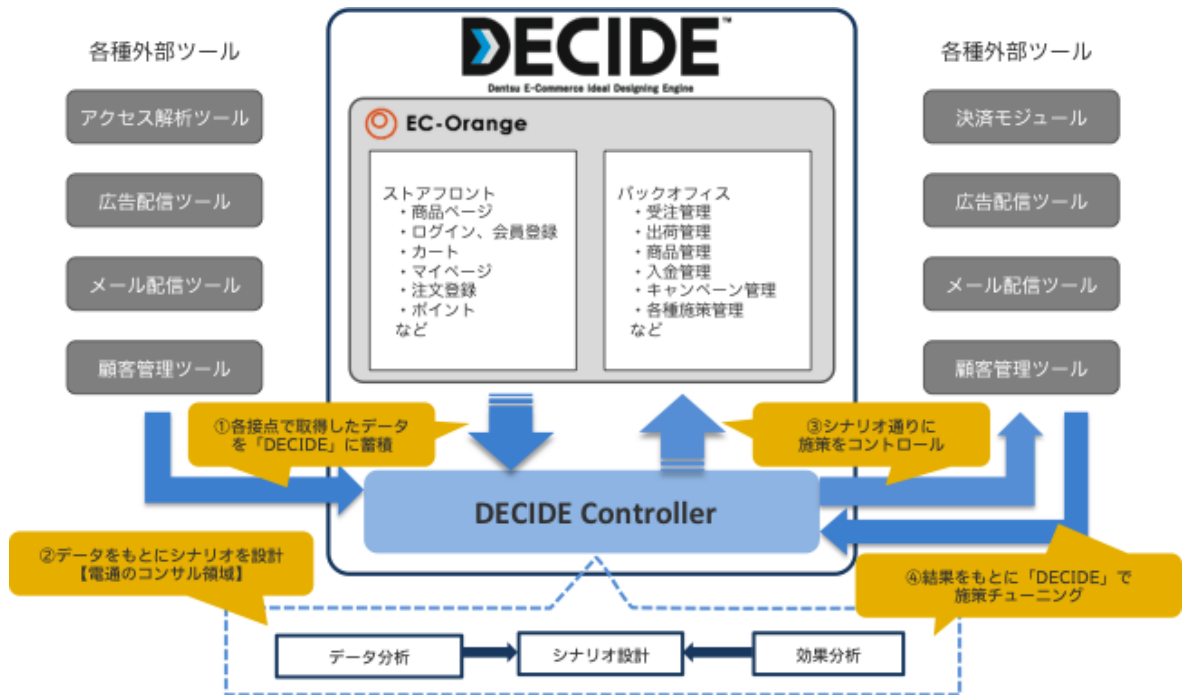
今後も、電通グループが独自に保有する各種データやマーケティング・ツールと接続することで、顧客が推進する事業シナジーの最大化に貢献してまいります。

以上

※オムニチャネルとは、実店舗やオンラインストアをはじめとするあらゆる販売チャネルや流通チャネルを統合すること、および、そうした統合販売チャネルの構築によって、どのような販売チャネルからも同じように商品を購入できる環境を実現すること。

■ 「DECIDE」 の概念図

エスキュービズムオリジナルの EC パッケージ「EC-Orange」をベースに、各種外部ツールからのデータ取得・蓄積を行い、「DECIDE Controller（「DECIDE」のモジュールのひとつ）」によって創出されたシナリオに基づき施策の出し分けを自動的にコントロールします。



【リリースに関する問い合わせ先】

株式会社電通 コーポレート・コミュニケーション局 広報1部
長澤、湊 TEL : 03-6216-8041

【事業に関する問い合わせ先】

株式会社電通 BIソリューション局 ECソリューション部
松本、三橋、坂本、高崎 TEL : 03-6216-8701